

主な導入製品

■スポーツ・グラフィックス
PIERO

■リアルタイムグラフィックス
XPression Tessera

■プロダクション・スイッチャー
Carbonite Ultra
Ultrix Acuity



■ ROSS Video社

カナダのオンタリオ州イロコイに本社を置くROSS Video社は、オンタリオ州オタワに研究開発施設を運営し、ニューヨーク州、英国、オーストラリア、シンガポールにオフィスを構えています。

■ 事業内容

Rossソリューションは、Eurosport、BBC World、SKY、Yahoo!、そして国際的なeスポーツ大会などの視聴者とマーケティングパートナーに感銘を与えています。ROSSは、カメラ、リアルタイムモーショングラフィックス、プロダクションスイッチャー、ロボットカメラシステム、拡張現実/バーチャルスタジオ、ビデオサーバ、インフラストラクチャとルータ、ソーシャルメディア管理、ニュースルームシステム、ライブイベント制作サービスなど、比類のない製品とサービスを提供しています。

<https://www.rossvideo.com>

Introduction

Empower Field at Mile Highの新時代

デンバー・ブロンコスの特徴的な本拠地に新たな経営陣が就任した際、ファン体験を大幅に向上させるという大きな目標を掲げていました。しかし、その実現には数多くの課題が伴いました。

デンバー・ブロンコスの本拠地である Empower Field at Mile High は、北米でも屈指のNFL スタジアムとして知られています。2022 年に新オーナーシップ体制が発足すると、スタジアムの未来に向けた大胆なビジョンが打ち出されました。

その中心となったのは、リーグ最大級のスコアボードの設置と、ファンが試合を体験する方法そのものを刷新することでした。しかし、このような大規模なアップグレードには、それに見合う大きな課題も伴います。

デンバー・ブロンコスの社内プロダクションチームである ThunderVision は、スタジアム内でファンの熱狂を維持しながら、同時に会場の制御システム全体を刷新するという重要な役割を担っていました。ファンエンゲージメントの向上と最新技術への移行を両立させることが、彼らに課せられた大きなミッションだったのです。

The Challenge

キックオフ前にコントロールルームを刷新

社内プロダクションチームである ThunderVision は、このプロジェクトを会場全体の制御システムを最適化する絶好の機会と捉えていました。しかし、その実現に与えられた期間は、シーズンとシーズン間の間のわずかな数か月しかありませんでした。

新オーナー陣は、プロフットボール界で5番目の規模を誇る72フィート×225フィートの巨大スコアボードの導入を推進していました。この計画を進める中で、チームはコントロールルーム全体を刷新する必要があると判断しました。もともと非常に意欲的なプロジェクトでしたが、新シーズン開幕までわずか数か月しかないという厳しいスケジュールによって、その難易度はさらに高まっていました。

ThunderVision は、この機会を単なる設備更新ではなく、コントロールルーム全体のワークフローを最適化するチャンスと捉えていました。彼らが目指したのは、スタジアム内に設置された55台すべてのLEDディスプレイを単一のシステムで同期・管理することでした。

その対象には、エンドゾーンの巨大スクリーンや没入感あふれるコンコースディスプレイだけでなく、観客通路やトンネル内の小型ディスプレイ、さらにはIPTVシステムまで含まれていました。スタジアム全体のあらゆる映像表示を一元管理し、統一された演出体験を提供することが彼らの目標だったのです。

The Solution

スタジアム全体を統合する単一プラットフォーム

ThunderVision が求めていた要件を実現できたのは、Ross Video の統合型スタジアム制御システムだけでした。デンバー・ブロンコス社は、スイッチングとルーティング機能を統合した Ultrix Acuity および Ultrix Carbonite プロダクションプラットフォームを導入しました。また、最大規模のディスプレイヘビクセル単位で正確なコンテンツを配信するために XPression Tessera を採用し、テロップや各種グラフィックスの生成には XPression Graphics を活用しています。さらに、カスタム設計された DashBoard パネルと組み合わせることで、スタジアム全体の映像表示と運用ワークフローを、単一の統合プラットフォーム上で管理できる環境を実現しました。

Ross のテクノロジーにより、ThunderVision はスタジアム内のすべての LED ディスプレイを最小限の手動操作で同期制御できるようになりました。これにより、試合中の重要なプレーの演出やリボンボードへのグラフィック表示など、あらゆる演出オペレーションがより簡単かつ効率的になりました。

その結果、ThunderVision チームは機器の操作や管理に時間を費やすのではなく、ファンを魅了するビジュアルコンテンツや演出体験の創造により多くのリソースを集中できるようになったのです。



Impact

Empower Field で進化するファン体験

ThunderVision は現在、1080p HDR に対応した 2 つのコントロールルーム（メインルームとサブルーム）を運用しています。これらのアップグレードは、ブロンコスファンの観戦体験を大きく向上させただけでなく、ThunderVision チームの業務負荷も軽減し、ファン体験のさらなる向上に注力できる環境を実現しました。

ファンは、大型ビデオボードで試合の迫力を楽しむ場合でも、コンコースに設置された小型ディスプレイで情報を確認する場合でも、スタジアム全体に広がる豊富なデータと魅力的なビジュアル演出に包まれます。

さらに、PIERO Live の導入により、ファンは自宅でテレビ観戦する際に得られるような詳細な統計情報や分析データを、スタジアム内でもリアルタイムに楽しめるようになりました。

例えば、

- ファーストダウンライン
- 3D プレークロック
- レッドゾーンマーカー
- フィールドゴールターゲットライン

といった高度な分析グラフィックスを、Empower Field ならではの熱気と没入感の中で体験できます。

Ross と ThunderVision のパートナーシップは、チームがより大胆な発想を持ち、クリエイティブの限界に挑戦する力を与えています。Ross Video が提供する柔軟性の高いプラットフォームと継続的なサポートによって、ThunderVision は試合終了後もファンの心に残り続ける、忘れられないゲームデー体験を創り出すことができます。

「スタジアム担当者の声」

“

「Ross を選んだ最大の理由は、その圧倒的な柔軟性にありました。自由度の高いオープンプラットフォームによって、私たちが思い描く演出や運用を実現できる環境が整いました。さらに、ゲームデーのオペレーションも大幅に効率化され、複雑な操作や不要な作業を減らすことで、より創造的な業務に集中できるようになりました。」

パット・ジョーダン

Empower Field at Mile High
放送部門ディレクター